

平成 28 年 度

事業報告書

自 平成 28 年 4 月 1 日

至 平成 29 年 3 月 31 日

社会福祉法人

真光会

目 次

I 事業報告

1. 概 要.....	1
2. 事業実施状況.....	3
(1) 会務の運営.....	3
(2) 役員及び評議員の状況.....	4
(3) 平成 28 年度実施事業等.....	5
3. 施設福祉部.....	7
(1) 平成 28 年度 特別養護老人ホーム三和荘事業報告.....	9
(2) 短期入所生活介護利用状況.....	11
(3) 平成 28 年度 月別行事報告.....	13
(4) 平成 28 年度 実習受入実績報告.....	13
4. 在宅福祉部.....	14
(1) 三和荘居宅介護支援事業所.....	15
(2) 三和荘訪問介護事業所.....	16
(3) 三和荘ケアハウス.....	17
(4) 三和荘通所介護事業所.....	18
(5) デイサービスセンター出水.....	20
(6) 三和苑デイサービスセンター.....	22
(7) デイサロン快.....	24
(8) グループホーム三和の邑.....	26
(9) グループホーム出水.....	28
(10) グループホーム三和苑.....	29
(11) 地域包括支援センター.....	30
5. 栄養・調理部門.....	33
6. 防災教育・訓練実施.....	35
7. 職員研修の状況.....	35

I 事業報告

1. 概要

(1) 4月の熊本地震による建物被害も人的被害も多くはありませんでした。しかしながらインフラ関係の不具合により、出水の事業所を中心に生活維持困難な状態が続きましたが、事業所相互の助け合いで乗り切ることができました。また、三和荘では建物に地域の避難者や熊本市の福祉避難者を受け入れると同時に、自家水を持っていたことから、飲用や入浴等の提供で地域や他施設のお役に立つことができました。

この震災に関して地域の方からの収穫野菜等の差し入れ、福祉団体や自治体を通じていろいろな団体や個人からの物資援助もいただき、わが国の人たちの暖かさを改めて知りました。

三和荘の職員は、全壊3名、大規模半壊1名、半壊17名、一部損壊1名を含め、多くの職員が自分の住まいが被害を受けるなか、避難生活や車中泊をしながら、福祉業務従事者としての使命感の自覚のもとに、仕事を最優先して対応してくれました。

(2) 当法人では、その使命・理念・基本方針の下、本年度の努力目標に沿い、かつ「個別対応」「尊厳の重視」「自立支援」という介護・福祉の原点に立ち、職員一丸となって地域福祉の向上に努めてまいりました。

施設介護では生活リハビリによる立位や歩行の維持・回復、オムツや薬に頼らない生活の確立、口腔ケアと誤嚥予防、嚙む力の回復と常食への回帰等を実践することで、ご利用者の人間としての尊厳の保持を目指してきました。平成27年度に特養に入所された方の平均要介護度は4.0、28年度は4.4で、現在の全入所者の平均要介護度は3.91という数字が出ており、これは特養のケアの効果を示しております。

在宅介護ではより良い支援に結びつく生活相談、スムーズな日常生活動作の維持、清潔・栄養の確保と精神的リフレッシュ、孤独・孤立の解消、健康・安全の保持等のための支援を行うと共に、潜在している課題の発見に努め、また生活・予防・介護・保健・医療等を一体的に連携させた在宅支援等を目指してきました。

現場でサービスを担当する職員も、暖かい人間性と高い倫理観、科学に裏打ちされた合理的方法論と高い実践力によって、上質な福祉サービスを構築しておりますが、当然、更に高いレベルを目指していく余地もあります。特に現場で大切な創意工夫と環境整備に関しては、十分に伸びしろが残っています。

(3) 職員の研修にも力を注ぎました。外部の研修にできる限り参加してもらい、内部の研修においても全体的研修、階層別研修等を計画的に実施し、その研修の成果を実践に直結させて活かす努力もしております。研究成果の内外での発表等をも積極的に行い、切磋琢磨の効果も上げております。

ただ、世相の影響を受け、人材確保の面では苦しい状況が続いております。

(4) 転倒等の事故を完全に防ぐことは困難でしたが、予知と予防に力を注いでインシデント(事故前現象)の段階でとどめ、アクシデント(事故)に至らないよう努めました。感染症予防の面では、インフルエンザの侵入を防ぐことができず、細かな感染予防マニュアルやご家族や来訪者のご協力を得ての対策も功を奏することができませんでした。今後、安全・衛生の面では、職員の更な

る意識と技量の向上を目指す必要があります。

- (5) 地域との連携についても、業務での関わりのほか、夏祭り・凧揚げ・東北支援秋の味覚会・地域交流会(日曜デイ)・グラウンドゴルフ大会などの法人主催行事の実施、地域行事への参加や会場提供等のほか、今年も「一職員一地域貢献」活動による豊かな地域づくりへの参加にも力を注ぎました。
- (6) 今年の看取りでお送りした方は4名で、ご家族との連携・協力もうまくいき、自然で穏やかなお見送りができたと思っております。
- (7) 例年通り実習・見学・介護体験等の受け入れや、介護教室の実施も行いました。また、ボランティアも出し物・演奏・お手伝い・清掃・喫茶店実施等のほか、寿司の出張サービス、海苔巻きの寄贈等を大変ありがたくお受けしました。長年にわたって定期的にご奉仕いただくボランティアさんには改めて深く感謝いたします。
- (8) 利用率(稼働率)については、短期入所・デイサービス・訪問介護等の在宅系で不振が続き、軽度者については国から自治体へと事業主体が転換される中で、今後も厳しい状況が続き、状況への柔軟な対応が求められています。

2. 事業実施状況

(1) 会務の運営

ア 理事会・評議員会の開催 於 三和荘

(ア) 第1回 評議員会 (平成28年5月21日 15:00～)
理事会 (平成28年5月21日 15:45～)

議 題

- 1 平成27年度事業報告及び決算報告について
- 2 平成27年度事業及び決算報告に関する監事監査結果について
- 3 平成27年度指導監査結果について
- 4 平成28年度予算の補正について
- 5 役員の費用弁償に関する規程の一部改定について

(イ) 第2回 理事会 (平成28年7月31日 16:00～)

議 題

- 1 デイサロン快の事業休止について

(ウ) 第2回 評議員会 (平成29年1月23日 14:00～)

第3回 理事会 (平成29年1月23日 15:10～)

議 題

- 1 平成28年度予算の補正について
- 2 育児・介護休業等に関する規則の改定について
- 3 給与規程の一部改定について
- 4 定款変更について
- 5 評議員選任・解任委員会運営規則の制定について (理事会審議事項)
- 6 評議員選任・解任委員の選任について (理事会審議事項)
- 7 評議員選任候補者の推薦について (理事会審議事項)
- 8 評議員選任・解任委員会の招集について (理事会審議事項)

(エ) 第3回 評議員会 (平成29年3月16日 10:00～)

第4回 理事会 (平成29年3月16日 11:00～)

議 題

- 1 平成28年度予算の補正について
- 2 就業規則の一部改定について
- 3 三和荘施設長と副施設長の定年延長並びに55歳を超える職員の職務継続及び昇格・昇給について
- 4 平成29年度事業計画と予算について
- 5 役員(理事)の変更について (評議員会審議事項)
- 6 定款細則の制定について (理事会審議事項)

イ 監事監査の実施

会計監査：平成28年5月7日 10:00～

業務監査：平成28年5月6日 14:00～

(2) 役員及び評議員の状況

ア 役員

承継順	役職	氏名	当初 就任年月日	役員の資格
1	理事長	吉田精華	H20.5.17	知識経験者
2	理事	後藤道彌	H15.1.1	施設長
3	理事	森章三	H17.9.22	地域福祉関係者
4	理事	加藤晃	H21.9.22	知識経験者
5	理事	荒木哲美	H22.5.26	知識経験者
6	理事	寺尾瀏	H25.3.14	知識経験者
1	監事	松田明彦	H21.9.22	業務担当
2	監事	戸田強	H28.3.18	財務担当

(理事・監事任期：平成27年9月22日
～平成29年度定時評議員会の終結時)

イ 評議員

No.	役職	氏名	当初 就任年月日	選任区分
1	評議員	吉田精華	H20.5.17	知識経験者
2	評議員	後藤道彌	H16.3.27	施設長
3	評議員	森章三	H17.9.22	地域福祉関係者
4	評議員	加藤晃	H21.9.22	知識経験者
5	評議員	荒木哲美	H22.5.26	知識経験者
6	評議員	寺尾瀏	H6.4.1	知識経験者
7	評議員	吉田睦子	H20.1.23	知識経験者
8	評議員	大津山壽奈子	H26.5.22	地域代表者
9	評議員	松村茂	H18.3.27	地域代表者
10	評議員	元田保	H18.3.27	地域代表者
11	評議員	田山智晶	H22.5.26	地域代表者
12	評議員	東敏雄	H20.3.27	知識経験者
13	評議員	東道夫	H27.5.21	地域代表者

(評議員任期：平成28年3月27日～平成29年3月31日)

(3) 平成 28 年度実施事業等

- 4月1日 辞令交付式
- 4月9日 高橋鯉のぼり設置ボランティア
- 4月9日 歓送迎会
- 4月23日～ 被災して入浴できない方へ浴室を無料開放
(4月23～24日、26～28日、5月3日の6日間で延べ86名が利用)
- 4月24日 小さな一歩慰問(震災支援のための健康支援活動)
- 5月1日 三和荘永年勤続者表彰(10年)
- 5月6日 業務監査
- 5月7日 会計監査
- 5月14日 高橋鯉のぼり撤去ボランティア
- 5月18日 あっぱれ座慰問(三和荘通所介護事業所)
- 5月21日 理事会・評議員会
- 5月22日 父母の会・家族会(グループホーム三和の邑・三和苑・出水)
- 5月22日 地域交流会(日曜デイ 18名参加)
- 5月24日 アニマルセラピー
- 5月29日 ケアハウス映写会
- 5月31日 財産登記
- 6月5日 特養父の日・母の日の会
- 6月11日 グラウンドゴルフ大会
(高橋・池上地区より 27名参加)
- 6月13日 小さな一歩慰問(震災支援のための健康支援活動)
- 6月17日 ケアハウス食事会
- 6月19日 地域交流会(日曜デイ 34名参加)
- 6月26日 ケアハウス映写会
- 6月30日 若草幼稚園慰問(特養)
- 7月6日 出水幼稚園慰問(デイサービス・グループホーム出水)
- 7月10日 地域交流会(日曜デイ 34名参加)
- 7月11日 ホーム喫茶
- 7月24日 アニマルセラピー
- 7月29日 ウヴェ・ワルター氏による復興支援尺八演奏会
- 7月31日 三和荘夏祭り(約900名の地域の方来荘)
- 8月21日 ケアハウス映写会
- 8月25日 グループホーム三和の邑・三和苑合同夏祭り
- 8月28日 地域交流会(日曜デイ 34名参加)
- 9月8日 岬鯨 敬老慰問(180食)
- 9月10日 九州電力窓拭きボランティア
- 9月11日 特養家族会・敬老会
- 9月12日 ホーム喫茶
- 9月12日 ケアハウスバスツアー
- 9月13日 ナイストライ(～15日)
- 9月17日 グラウンドゴルフ大会
(上代地区・4町内より 14名参加)
- 9月18日 ケアハウス映写会

- 9月25日 地域交流会（日曜デイ 32名参加）
- 9月25日 アニマルセラピー
- 9月25日 家族会・敬老会（グループホーム三和の邑・出水）
- 10月13日 特養観月芋煮会
- 10月23日 秋の味覚会（利用者家族と地域 60名 地域交流会 34名）
- 10月23日 地域交流会（日曜デイ 33名参加）
- 10月24日 ホーム喫茶
- 10月28日 ケアハウスバスツアー
- 10月28日 グループホーム三和の邑・三和苑合同運動会
- 10月30日 ケアハウス映写会
- 11月5日 凧揚げ大会
- 11月20日 地域交流会（日曜デイ 39名参加）
- 11月27日 ケアハウス映写会
- 11月28日 ホーム喫茶
- 12月10日 忘年会
- 12月11日 グループホーム三和苑家族会・忘年会
- 12月18日 特養もちつき忘年会
- 12月18日 ケアハウスクリスマス忘年会
- 12月18日 グループホーム出水家族会・忘年会
- 12月18日 地域交流会（日曜デイ 36名参加）
- 12月18日 クリスマスケーキ寄贈（54個）大野商事
- 12月20日 美心幼愛園慰問（三和荘通所介護事業所）
- 12月22日 ぴっかりブラザーズ慰問（三和荘通所介護事業所）
- 1月9日 どんどや
- 1月13日 ケアハウス初詣
- 1月15日 地域交流会（日曜デイ 32名参加）
- 1月18日 ホーム喫茶
- 1月21日 熊本県老人福祉施設研究大会
- 1月23日 理事会・評議員会
- 2月3日 “節分”のり巻き寄贈（54本）
海苔で健康推進委員会九州ブロック
株式会社 鶴屋百貨店
- 2月9日 くまモン慰問
- 2月12日 地域交流会（日曜デイ 35名参加）
- 2月18日 ケアハウスひなまつり交流会
- 2月18日 グラウンドゴルフ大会
（5・6・7・9町内より 36名参加）
- 2月19日 ケアハウス映写会
- 2月22日 ホーム喫茶
- 2月24日 評議員選任・解任委員会
- 3月12日 地域交流会（日曜デイ 36名参加）
- 3月16日 理事会・評議員会
- 3月19日 ケアハウス映写会
- ※その他 ぴっかりブラザーズ慰問（6、9、12、3月）
和の会ボランティア慰問（6、8、10、12、2月）

3. 施設福祉部

平成 28 年度は 4 月に大地震があり、職員の生活や体調も心配しましたが、ご利用者が不安なく過ごしていただけるよう協力し合い、危機を乗り切ることができました。また、災害救助法に基づく福祉避難所としての役割も果たすことができ 3 名を受け入れ、介護保険法に基づく緊急入所としても 3 名を受け入れました。

特別養護老人ホームでは、ご利用者の願いや思いをご家族と一緒に叶える取組みを模索してきました。「家に帰りたい」という思いを持ったご利用者に身内の方の協力を得て、以前暮らしていた家にお連れし、短い時間でしたが懐かしい我が家での時間を過ごしていただくことができました。他の方についても今後、少しずつ本人の想いを叶えていきたいと思えます。

地域貢献については地域との繋がりがある特養を目指すということで、敬老の日の行事に池上地区の高齢者の方々を招待する予定でしたが、今年は民生委員会の方との連携が難しく地域の他の行事とも重なったため招待が出来ませんでした。家族会ではご家族にユマニチュードの技法を、実践を交えて伝えることが出来たと思えます。しかし、地域の方へ介護技術等を伝えていくことは難しく、どのような場で伝えていくか等が課題として残っています。平成 26 年度より取り組んでいるご利用者の作品展示は継続して行い、3 月 3 日～24 日までの 3 週間、肥後銀行稲荷前支店に展示させていただき三和荘のことを知っていただけたのではないかと思います。

苦情ゼロへの取組みについて、今年度は 15 件の苦情（注文）がありました。その中でも 10 月から 1 月までの間にご利用者からの苦情が多く 12 件で、内容も職員の対応に関するものでご利用者の希望と職員の意図とが噛み合わないケースでした。取組みとして、まず苦情発生時に職員が報告しやすいように、苦情報告書を作成しました。そして職員に話を聞き、対応策を考え、ホールに貼りだす事で他の職員にも周知するようにしています。12 月の特養会議時には苦情について考える時間を設け、今後ケアをする時に心掛けることを各々に考えてもらい実践するようにしています。2 月頃より苦情の件数も少なくなり、職員も対応について意識するようになってきたのではないかと考えます。

口腔については、協力歯科医院が変わったことによって歯科医師との情報交換が的確となり、今話題になっている噛み合わせの良い義歯を用意することができ、義歯未使用の方にも義歯作製へ踏み切ることができるようになりました。また、歯科医師の指示のもと、多職種で協働し食事形態のアップにもつながる事例が増えました。歯科診療の際に診療困難な方でも介護職の補助も加わった事によって、診療可能となった事例も増えてきました。

重度化の予防については、明らかな症状にはすぐに対応できましたが、痛みの訴えに関してご利用者によっては曖昧だったりもしたため、様子を見ることにし対応が遅くなる事もありました。その他に 2 月から施設内でインフルエンザが流行してしまいました。感染経路はショートステイご利用者からでしたが、その後に感染が拡大したのは職員の対応の甘さと、体調管理不足が原因とも考えられるので、感染の初期対応はもちろん、流行後の対応マニュアルの作成も 29 年度の課題です。

看取りについては、今年度の対象者は 6 名で、うち 4 名の方を看取りました。そのうち 4 名が同じ時期に看取りとなり、うち 3 名は 1 ヶ月以内に亡くなられました。その時期にインフルエンザが流行したことで面会があまりできず、ご家族と過ごす時間をあまり作れなかったことは申し訳なく思います。また、一時期看

取りの対象者が5名になり、個室を提供するということが難しく、今後看取りの方が増えた時に、どういう風にプライバシーを確保するかが課題となっています。

機能訓練の充実については介護職でも行う生活リハビリに、理学療法士が行う個別リハビリを効果的に実施でき、機能訓練の拡充に繋がったと思います。しかし、一度決めた生活リハビリの内容がなかなか定着しないケースもありました。ご利用者の状態が変わった際にリハビリの内容を見直す事が出来ていなかった事も一つの要因と考えられ、今後は柔軟かつ迅速な対応が必要だと考えています。

ショートステイについては重度の認知症の方の受け入れはもちろん、地震後の緊急利用も可能な限り受け入れる様に努力しました。また体調管理については毎日、看護師がバイタル測定を行い健康状態の確認をしました。異常がある時はご家族または医療機関とも連携を図り、迅速に対応できたのではないかと思います。その他、居宅にショートステイの受け入れ状況を毎月送り、ケアマネージャーにも挨拶に行くことで新規のご利用者も増え、定期利用にも繋がっています。

(1) 平成 28 年度 特別養護老人ホーム三和荘事業報告

平成 29 年 3 月 31 日現在

ア 入所者年齢別内訳

年齢	69歳以下	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85～89歳	90～94歳	95～99歳	100歳以上	合計(人)
男	1	0	2	3	0	1	1	0	8
女	1	0	1	7	15	11	4	3	42
計	2	0	3	10	15	12	5	3	50

平均年齢 87.48 歳

イ 地域別入所者内訳

熊本市 49 名 (他 特例入所者(熊本地震に伴う緊急入所者)2 名)

ウ 入所者身体状況

	全面介助	一部介助	認知症	入院者
男	2	6	7	1
女	8	34	42	0
計	10	40	49	1

車椅子使用者 23 名
歩行器使用者 8 名
杖使用者 4 名
手引き歩行 12 名
歩行自立 4 名

エ 要介護度別状況

	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
男	0	2	2	2	2	8
女	1	1	9	18	13	42
計	1	3	11	20	15	50
	2.0%	6.0%	22.0%	40.0%	30.0%	100.0%

平均要介護度 3.9

オ 入退所状況

	入所	退所
男	2	2
女	9	10
計	11	12

(2) 短期入所生活介護利用状況

平成 28 年度

	収容力(A)	延利用者数(B)	利用率(B)/(A)	実利用者数	特例利用者(注5)	
	(注1)	(注2)	(注3)	(注4)	延人数	実人数
28年 4月	540	384	71.1%	40	0	0
5月	508	325	64.0%	33	50	2
6月	480	240	50.0%	30	60	2
7月	526	245	46.6%	25	32	2
8月	527	263	49.9%	31	31	1
9月	510	281	55.1%	34	30	1
10月	527	285	54.1%	34	31	1
11月	489	287	58.7%	30	51	2
12月	496	241	48.6%	30	62	2
29年 1月	496	241	48.6%	32	62	2
2月	448	273	60.9%	35	56	2
3月	496	257	51.8%	33	62	2

注1:「収容力」=ショートステイ用に整備したベッド数×月の日数

注2:「延利用者数」とは1日あたりの利用者数を1ヶ月間積み上げた人数

注3:「利用率」小数点2位以下切り捨て

注4:「実利用者数」とは1ヶ月間に利用した人の実数

注5:熊本地震に伴う緊急入所者

「特例利用者」の延人数とは1日あたりの特例利用者数を1ヶ月間積み上げた人数

「特例利用者」の実人数とは1ヶ月間の特例利用者の実数

	最多利用日の延利用者数	最小利用日の延利用者数
28年 4月	19	4
5月	14	6
6月	11	5
7月	11	4
8月	13	4
9月	17	4
10月	14	4
11月	13	5
12月	12	3
29年 1月	15	4
2月	14	6
3月	13	4

(3) 平成 28 年度 月別行事報告

月	日	行事名	参加人数	家族参加者数	ボランティア数
4月	14日	こいのぼり見学	3名		
6月	5日	父の日・母の日会	50名	43名	7名
	7日	紫陽花見学	15名		
7月	7日	スイカ割り	18名		
	21日	夏祭り	15名		
8月	15日	かき氷作り	17名	2名	
	23日	上映会	26名		
9月	6日	かき氷作り	18名		
	11日	敬老会	48名	33名	5名
10月	13日	観月芋煮会	51名	2名	4名
11月	4日	紅葉見学	15名		
	8日	ドライブ	17名		
	15日	食事会	14名		
	17日	自宅へ	1名	1名	
12月	18日	餅つき忘年会	54名	30名	10名
	20日	年末大掃除	7名		
1月	6日	初詣(中央グループ)	18名		
	13日	初詣(西グループ)	12名		
	19日	初詣(東グループ)	11名		
	22日	プリンスアイスワールド熊本公演	4名		
2月	21日	団子汁作り	7名		
3月	3~24日	肥後銀行への作品展示			

その他・おやつ作り 延べ参加者数 36名
 ・買い物 // 13名
 ・外食 // 4名
 ・アニマルセラピー 3回(5、7、9月)
 ・ホーム喫茶 6回(7、9、10、11、1、2月)
 ・和の会慰問 5回(6、8、10、12、2月)
 ・特定非営利活動法人「小さな一歩」健康支援活動 2回(4、6月)
 (震災支援)

(4) 平成 28 年度 実習受入実績報告

団体名	受入人数	受入延べ日数
熊本社会福祉専門学校 介護福祉科	4	60
熊本学園大学	3	36
九州看護福祉大学	1	23
大原学園	1	20
城北高校	1	5
三和中ナイストライ	2	6
熊本市医師会看護専門学校	3	30
社会体験研修	1	2
合計	16	182

4. 在宅福祉部

平成 28 年度の在宅部門は、地域包括ケアの推進のために次年度から始まる、熊本市による介護予防・日常生活支援総合事業の実施に向けた取組みを念頭に、各事業所のサービスを実践してきました。

居宅介護支援事業所は、特定事業所として主任介護支援専門員を中心に 24 時間体制を取りながらケアマネジメントのスキルをあげ、重度の医療依存度が高いご利用者でも在宅での生活が継続できるように勉強会などを行っています。

西 1 地域包括支援センター（ささえりあ三和）では、昨年度立ち上げた「こはるカフェ」の取組みをボランティアの方のご協力により継続しています。サービスを利用しない方や、閉じこもりがちの方、軽度の認知症の方など、民生委員の方から相談のあった方々が気軽に来ていただけるように工夫しています。総合事業に向けた取組みは、生活支援コーディネーターを中心に、自治会や老人会などに出向き住民主体の体操の場作りを提案してきました。

三和荘通所介護事業所では、業務改善を行いながら、ご利用者の満足度を上げる取組みを継続して行ってきました。買物や荘外行事などご利用者からのご要望に応じた計画も定期的に行い、ご利用者に喜んでいただきました。しかしながら、震災の影響や、入院の方が増えたり、ショートステイなど他のサービスへの変更等により、いろいろな工夫にもかかわらず利用率の低下が続いています。

三和苑デイサービスセンターでは、男性のご利用者が増えています。他のデイサービスの利用が続かない方からのご相談が多く、工夫を凝らし継続へと繋げることができています。また、地域貢献として三和荘通所介護事業所と合同で行う、毎月 1 回の地域交流会（日曜デイサービス）は毎回好評を得ることができ、35 名程の参加者が定着しています。また、新規の方も口コミで広がっています。

デイサービスセンター出水は、自治会や圏域内のケアマネージャーの方たちとの信頼関係を築くことができています。そのことにより利用率のアップができています。処遇面では、いずみカフェや個別での行事、美味しく食べられるような食事の工夫など、小規模ならではの細やかな対応を行いながら満足度を得られるようにしています。

デイサロン快は、少人数ならではのお一人お一人のニーズに合わせたケアを行いご利用者も定着してきましたが、平成 27 年の介護報酬改定による収入の減少や、震災後の職員の退職に伴う人員不足のため、8 月末をもって事業を休止しました。

グループホームは 3 施設でそれぞれ特色ある課題をもった取組みを行っています。また、3 事業所での合同の勉強会も継続しています。お互いのグループホーム同士でグループワークや事例検討を行い行動障害への対応などをみんなで考えながら、ご利用者が落ち着いた生活が継続できるように努力しています。

ケアハウスでは地震の影響もあり、空室の期間も少なくなりました。入居者の皆さんには楽しく生活をできるように、月 2 回程度、遊びクラブ、絵画クラブ、機能訓練、華道クラブなどの楽しみの時間を多く企画したり、買物や食事会などの行事の充実を継続しています。

訪問介護事業所においては、来年度から始まる日常生活支援総合事業に向けて、ヘルパーの方への勉強会を定期的開催しています。また、ヘルパー支援のサービス内容の確認を行い、どのヘルパーの方でも同じようなサービスが提供できるようにヘルパー会議の充実を図っています。

(1) 三和荘居宅介護支援事業所

ア 平成28年度ケアプラン作成年間実績（人）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
通所介護	102	96	99	98	100	92	92	92	94	96	94	91	1146
通所 リハビリ	7	5	6	5	5	7	7	8	8	7	6	5	76
訪問介護	59	54	49	53	55	57	54	50	47	51	50	48	627
訪問入浴	3	2	2	1	2	2	2	2	3	3	2	4	28
訪問看護	12	11	11	13	13	13	11	10	10	9	9	9	131
訪問 リハビリ	1	1	2	2	2	2	2	2	2	2	1	1	20
福祉用具 貸与	83	75	77	77	81	78	79	80	75	75	71	71	922
福祉用具 購入	1	1	2	1	2	1	1	0	0	0	0	0	9
短期入所 生活介護	29	19	20	15	16	17	22	17	17	14	17	14	217
短期入所 療養介護	0	0	0	0	1	0	1	1	1	0	0	0	4
住宅改修	0	0	1	0	1	1	1	0	0	1	1	0	6
新規契約	4	4	7	1	2	2	3	6	4	4	3	4	44
実件数	113	109	111	107	110	110	109	112	109	112	109	110	1321

イ 担当者会議実績（件）

4月	11	7月	11	10月	10	1月	9
5月	10	8月	11	11月	7	2月	10
6月	12	9月	12	12月	11	3月	9

ウ 要介護別利用者数

要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5
49	26	19	13	7

エ 介護予防への移行者数（人）

4月	0	7月	0	10月	2	1月	0
5月	0	8月	0	11月	0	2月	0
6月	1	9月	0	12月	0	3月	0

オ その他

ご自宅で介護されているご家族同士の悩みの共有や連携を図る場として前年度から実施している「つながるの会」を、今年度も1月25日に実施し、18名が参加した。また、熊本地震の際には、1回目の震災の翌日から優先順位を決め、お一人暮らしや認知症など優先度の高い方を中心に電話や自宅訪問で安否確認を行った。また倒壊の恐れのある自宅の様子確認やご家族と一緒にの方が避難所とご自宅のどちらにいるのかの確認も行った。

(2) 三和荘訪問介護事業所

ア ホームヘルパー派遣状況

区分 月	派遣世帯数		派遣回数				派遣時間			
	要介護	要支援	要介護			要支援	要介護			要支援
			身体介護	生活援助	身体生活		身体介護	生活援助	身体生活	
4月	24	25	20	149	3	119	15.25	125.75	3.25	90.25
5月	24	23	32	149	2	123	24.5	126.75	2.5	92.25
6月	23	24	30	149	5	132	23.25	125.5	6.25	100.75
7月	23	27	29	140	4	148	22.75	119.5	5	114.5
8月	23	27	31	167	4	156	24.5	143.5	5	121.25
9月	23	27	31	152	4	148	23.25	130	4.5	114.75
10月	23	28	25	143	3	143	20	122.25	3.75	110
11月	22	28	25	154	4	143	19.75	131	5	110
12月	20	29	16	132	4	140	13	112.75	5	107
1月	17	27	16	110	3	130	13	92.75	3.75	100.75
2月	17	26	17	112	3	127	14	94	3.75	98
3月	20	28	35	138	5	163	23	116.5	6.25	125.5
合計	259	319	307	1695	44	1672	236.25	1440.25	54	1285
平均	21.6	26.6	25.6	141.3	3.7	139.3	19.7	120	4.5	107.1

イ 熊本市高齢者生活援助事業 (H27年4月～)

○ H28年度は利用なし

ウ ヘルパー会議実施・学習会状況

開催日時：毎月第3水曜日 16:00～17:00

参加者：出口美恵 後藤きよみ 松田佳代
松永智子 建石富美子 佐藤朝美 吉永早苗

4月	5月	6月	7月
年間方針及び取り組み	認知症について (出口)	食中毒を予防について (栄養士:石原)	調理実習・利用者宅に ある食材で作る料理 (出口)
8月	9月	10月	11月
地域資源の活用 (出口)	救急法 (小島消防署)	ユマニチュードについて (出口)	調理実習・身体が温ま る料理 (出口)
12月	1月	2月	3月
高齢者虐待について (出口)	口腔ケアについて (出口)	接遇について (出口)	介護予防・日常生活支援 総合事業について

(3) 三和荘ケアハウス

ア 入所者年齢別内訳 (平成 29 年 3 月 31 日現在)

	60歳代	70歳代	80歳代	90歳代	合計	平均年齢	最高年齢	最低年齢
男性	0	1	0	3	4	88.7	99	71
女性	1	1	11	6	19	86.7	96	60
合計	1	2	11	9	23	87		

イ 在所期間

	1年未満	1年以上 3年未満	3年以上 5年未満	5年以上 10年未満	10年以上	計	平均 在所期間
男性	0	2	1	0	1	4	4年10ヶ月
女性	6	3	3	4	3	19	5年5ヶ月
合計	6	5	4	4	4	23	5年4ヶ月

ウ 在宅サービス等利用状況

	ホームヘルパー	デイサービス	デイケア	訪問看護	リハビリ	ショートステイ
男性	4	2	0	0	0	0
女性	14	14	0	0	0	0
合計	18	16	0	0	0	0

エ 入・退去者の状況

入居者 7名 (男性:0名、女性:7名)

退去者 8名 (男性:1名、女性:7名)

退去理由: 他施設(5名)、在宅(2名)、死去(1名)

オ 待機者の状況

男性2名・女性4名・夫婦4組

カ 週間行事

絵画クラブ(第1・第2月曜)
買い物ツアー(毎週火曜)
書道クラブ(第2・第4水曜)
華道クラブ(第2・第4木曜)
遊びクラブ(月3回)
機能訓練(月2～4回) 血圧測定(毎月第3週) 映写会(月1回)

キ 月別行事

4月	健康診断
5月	端午の節句・菖蒲湯(5日)・母の日の行事・映写会(29日)
6月	父の日の行事・食事会(17日)・映写会(26日)
7月	七夕行事・バスツアー(日)・映写会(24日)・三和荘夏祭り(31日)
8月	映写会(21日)
9月	敬老の日の行事・バスツアー(12日)・映写会(18日)
10月	秋の味覚会(23日)・防災訓練(27日)・食事会(28日)・映写会(30日)
11月	凧揚げ大会(5日)・映写会(27日)・忘年会練習
12月	忘年会(18日)・ゆず湯(21日)・餅つき(23日)
1月	どんどや(9日)・初詣(13日)・映写会(22日)
2月	節分豆まき・ひなまつり交流会(18日)・映写会(19日)
3月	雛祭り・映写会(19日)・避難訓練(30日)

ク 熊本地震について

震災直後に駆け付けた職員が安否確認を行い、お一人では不安な方を 1

階に避難誘導した。その際に2名の方が足を負傷したが、その他大きな混乱はなかった。ライフラインが止まらなかったため、比較的早く日常生活を取り戻すことができた。

(4) 三和荘通所介護事業所

ア 月別利用状況

(ア) 全対象者合計利用状況

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平均
実 運 営 日 数	26	26	26	26	27	26	26	26	26	24	24	27	310	25.8
登 録 人 員	58	48	57	62	61	72	69	69	67	69	65	71	768	64.0
月間延利用人員	474	440	472	529	541	655	600	600	596	516	503	614	6,540	545.0
一日平均利用数	18.2	16.9	18.2	20.3	20.0	25.2	23.1	23.1	22.9	21.5	21.0	22.7	253.2	21.1

(イ) 要介護度別利用状況 (延利用人員)

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平均
要 介 護 1	126	109	126	168	137	232	246	230	236	196	197	235	2,238	186.5
要 介 護 2	125	127	92	73	77	81	92	104	110	107	107	110	1,205	100.4
要 介 護 3	146	147	140	158	164	154	116	109	110	81	73	98	1,496	124.7
要 介 護 4	4	0	37	47	58	65	55	46	35	26	24	22	419	34.9
要 介 護 5	18	12	12	14	13	14	11	4	5	5	3	24	135	11.3
要介護者(合計)	419	395	407	460	449	546	520	493	496	415	404	489	5,493	457.8

(ウ) 要支援者利用状況 (延利用人員)

介護予防対象者	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平均
要 支 援 1	27	27	40	38	32	26	25	30	28	22	16	26	337	28.1
要 支 援 2	28	18	25	31	60	83	55	77	72	79	83	98	709	59.1

イ 三和荘通所介護事業所における業務の取組み

①送迎

送迎ボードやカードを用いて人数や送迎時間を細やかに考慮した配車を行い、可能な限り個別の送迎時間への対応を行った。移動や乗降介助の際には事故・転倒がないように心掛けた。休みの連絡や緊急の対応などに備えて携帯電話の所持の徹底を行った。接触事故・パンク等の事故が数件発生したため、運転前の点検に力を入れた。運転が丁寧でない職員のOJTを行い、改善に向けた。

②健康チェック

血圧・体温・脈拍を測定してその日の健康状態を把握するのはもちろんのこと、自宅での状態把握にも努めた。急変時にはご家族やケアマネジャー等の関係者と連絡をとり、病院受診などの早期対応に努めた。服薬に関しては、ご本人の名前の確認を行い、誤薬予防を行った。薬の飲ませ忘れがあり、ご家族からの指摘を受け、原因を究明し、対策を講じた。

③レクリエーション活動

ご利用者の心身の活性化を図るため、楽しみながら出来るプログラムの計画・実施に努めた。レクリエーション担当者を中心にプログラム作りを行った。午後の活動や誕生会等のイベントにも力を入れてきたことで、ご利用者に満足感を持っていただけた。出来るだけ職員の関わりを増やすことで、内容が盛り上がるので、職員の意識改革になったと思われる。

④食事

食前の口腔体操、食事中の声掛け、見守りを強化し誤嚥防止に努めた。またご利用者の心身状態を把握した上での、状態にあった食形態や器の選択・提供に努めた。職員が検食を行い、ご利用者からの意見を収集し厨房へ伝えることにより、献立の内容の充実に努めた。ご利用者が食べられない際には食形態を変えたりして、厨房と協力してご利用者の栄養状態の確保を行った。

⑤入浴

事故の原因を全員で検討し、問題点を明確にして、ケアの統一につなげた。安全かつ快適に入浴していただくため、事故防止を図るため、浴室内と脱衣所内の職員同士の連携にて安全配慮に留意した。また、季節感のある菖蒲やゆず湯、入浴剤等を活用するなど喜ばれる入浴環境創りに取り組んだ。ゆっくりした入浴が行えるように午前と午後に分けゆとりを持って対応した。入浴中の事故が1件あったが、事故の原因を全員で検証し、問題点を明確にして、ケアの統一を図った。

⑥機能訓練

ケアビクス、ストレッチ等でのROM訓練（関節可動域訓練）や、セラバンド、マシーントレーニングでの筋力維持・向上訓練を実施した。ミュージックケアも取り入れリハビリのバリエーションを広げた。個別機能訓練計画に基づき3か月ごとの評価も行った。歩行力向上のため「歩こうかい」を始める。西区の有名な箇所を入れたコースを作成し、歩いた結果が可視化でき意欲の喚起になるように工夫した。

⑦静養・物理療法・マッサージ

ホール内にベッドとマッサージスペースを用意し、体調不良者や昼食後の休養等に使用した。物理療法のメドマー・ホットパックは多くのご利用者の方々から好評であった。また、専門職員による身体のマッサージの提供は好評を得た。ホットパックの使用に関してトラブルが発生したので、ご利用者が納得できる形で改善した。

⑧生活相談

精神的な不安や経済的な不安など、多くの個別課題（悩み等）を持つ方もおり、事案により、じっくりと傾聴し、内容によってはご家族や居宅担当者、そのほか関係機関とも適宜連絡・調整を行い、その課題解決・不安点の軽減に努めた。

⑨通所介護計画書の作成・実行

介護保険の更新後やケアプラン変更時には随時、介護計画を作成し、ご利用者のニーズに合わせた計画・実施に努めた。職員一人ひとりに周知できるように工夫した。介護保険の有効期間である2年の間で状況の変化もことから、変化に対応した計画作成を行った。

⑩その他

- ・ 熊本地震の直後から状況の把握を行い、受け入れ態勢をとった。地震の影響で在宅生活が困難となり施設入所等になったご利用者も多く、そのため利用率の低下が続いた。

- ・ 職員の言葉遣いに「気分が悪くなった」とご利用者からの苦情があった。状況の把握を行い、接遇面の改善に取り組んだ。ご利用者への言葉使いにも十分に注意を払い、心に届くサービスを更に目指していきたい。
- ・ デイサロン快の休止（8月末）に伴い、新たなご利用者を迎えることになったが、ご利用者の同意を得ながら丁寧に受け入れ準備を行った。
- ・ 地域包括支援センターが行う、地域ケア会議に出席し、支援困難事例の受け入れを積極的に行った。
- ・ 地域に住む高齢者の集いに参加し、介護予防の実技について技術提供を行った。

(5) デイサービスセンター出水

ア 月別利用状況

(ア) 全対象者合計利用状況

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平均
実運営日数	25	26	26	26	27	26	26	26	24	24	24	27	307	25.58
登録人員	35	34	33	35	32	34	36	36	37	37	37	39	425	35.42
延利用者数 (実数)	292	307	310	305	309	298	325	329	255	309	290	338	3,667	305.58
短時間総数	31	14	12	22	27	19	23	28	28	26	28	43	301	25.08
延利用者数 (換算後)	211	227	230	223	225	219	238	240	184	225	211	253	2,686	223.80
1日平均 利用者数	11.68	11.80	11.92	11.73	11.48	11.46	12.50	12.65	10.60	12.80	12.08	12.51	-	11.93
稼働率	77.9%	78.7%	79.5%	78.2%	76.3%	76.4%	83.3%	84.4%	70.8%	85.8%	80.6%	83.5%		79.6%

(イ) 要介護度別利用状況（延利用人数）

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平均
要介護1	125	130	137	129	132	128	144	174	146	161	146	146	1,698	141.50
要介護2	58	80	83	67	67	64	83	64	42	40	32	35	715	59.58
要介護3	54	37	32	37	38	27	32	28	16	47	49	75	472	39.33
要介護4	5	4	4	5	7	8	9	8	6	7	8	6	77	6.42
要介護5	3	5	6	11	12	17	15	9	4	4	4	4	94	7.83
合計	245	256	262	249	256	244	283	283	214	259	239	266	3,056	254.67

(ウ) 要支援者利用状況（延利用人数）

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平均
要支援1	15	13	14	19	18	23	14	15	12	18	10	13	184	15.33
要支援2	32	38	34	37	35	31	28	31	29	32	41	59	427	35.58
合計	47	51	48	56	53	54	42	46	41	50	51	72	611	50.92

(エ) 季節の行事

- 4月・・・ 出水カフェ4/12 つつじ見学ドライブ4/11～14 こいのぼり見学4/28
- 5月・・・ 母の日の集い5/9～14 出水カフェ5/17
- 6月・・・ あじさいドライブ6/10～18 父の日の集い6/18, 20 料亭出水6/22
- 7月・・・ 七夕の集い7/7 そうめん流し7/18～23
- 8月・・・ 夏祭り8/1～8/6
- 9月・・・ 敬老会9/12～17
- 10月・・・ 出水カフェ10/15 どらやき会10/24
- 11月・・・ 出水カフェ11/17 紅葉見学11/21～26
- 12月・・・ 忘年会12/20 餅つき12/22 クリスマス会12/24
- 1月・・・ 初詣1/4～10 出水温泉1/20
- 2月・・・ 節分2/3 出水カフェ2/13
- 3月・・・ 梅見ドライブ3/7～11 出水カフェ3/16

イ デイサービスセンター出水における業務の取組み

①送迎

安全に送迎ができるように人員を配置し、ご利用の方が安心して利用できるように状態に合わせた送迎に努めた。また、ご利用者の希望されるお迎え時間を厳守できるよう、職員間での連絡を確実に行った。

②健康チェック

ご利用の方が安心して利用できるように、看護師を中心に利用日毎に健康チェック、状態の把握を行い、体調不良や急変時に対応できる体制を整えてサービスの提供を行った。また、必要に応じて病院受診の相談や変化時の報告等を行い、家族・各関係機関との情報交換を密に行うように努めた。

③生活相談

利用時には事業所内での表情や会話を通して、自宅での様子や悩み等の把握ができるように、全職員でかかわりを多く持てるようなコミュニケーションを心がけた。また、こまめに応個別に面談や訪問を行い、不安等の軽減、信頼関係構築に努めた。

④機能訓練・運動器機能向上訓練

機能訓練指導員を中心に、在宅生活を想定した機能訓練を、下肢筋力向上を中心に行った。今年度途中から平行棒を利用しての下肢筋力訓練を行った。入院後の下肢筋力向上の成果がみられた。

⑤日常動作訓練（レクリエーションを通して）

今年度も毎週のメニューを決めず、その日のご利用者に合わせ、脳トレ・作業療法・歌活動・身体活動等より選択し、ご利用者と共に楽しく活動できるように努めた。余暇時間を有効に活用すべく、事前の準備を徹底した。

⑥食事

ご利用者の状態や希望に沿った食形態・代替食等で提供を行った。手作りにこだわり、ご利用者の希望されるメニューの聞き取りにも力を注いだ。

⑦養護

利用時の疲れや痛みが軽減できるように自由に休めるスペースと、体調不良時等に使用できるように静養室にベッドを確保し、状態に合わせて休養ができるようにした。また、希望者には、看護師と相談し、メドマー・フットマッサージ・ホットパック・マッサージ機などで気分転換できるように努めた。

⑧入浴

4月に起きた地震の際は、三和荘の浴槽を利用するなど臨機応変に対応した。午前を女性の方中心に、午後を個別浴、男性に入っていただくように対応した。ご利用者が安心して入浴ができるような環境作りを行った。今年度も第二週を入浴剤週間とし、好評だった。

ウ その他

①地域との関わり・PR活動

校区の運動会や餅つき、自主防災クラブ、清掃活動などの地域行事や、包括主催の地域包括ケア会議に参加した。ささえりあ白川の地域運営協議会、生活支えあい協議会に出席した。また、白山7・9町内サロンに参加し、地域とのかかわりが多くもてた。

②書類関係

ケアプランに基づいた目標を立て、援助・評価ができるように努めた。また、職員全員が通所介護計画書を把握できる様に、ケース記録に付属した。毎月1回評価を兼ね担当ケアマネージャーへ報告を行った。

③会議等

毎日、朝夕にその日のご利用者についての報告・ご利用者の情報等の交換を行い、職員間のケアの統一が図れるように努めた。月1回のデイサービス会議では、実績、ご利用者の状況の再確認、行事の確認、法令や介護保険について研修の報告会、接遇の勉強会などを行った。

(6) 三和苑デイサービスセンター

ア 月別利用状況

(ア) 全対象者合計利用状況

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平均
実運営日数	25	26	26	26	27	26	26	26	26	24	24	27	309	25.7
登録人員	143	145	141	150	150	152	150	157	153	148	154	156	1799	149.9
月間延利用人数	532	545	579	588	615	591	565	571	569	522	540	661	6878	573
月間実利用人員	54	52	52	50	54	56	54	60	56	57	62	65	672	56
1日平均利用者数	22.2	21.6	22.9	23.4	23.6	23.6	22.6	22.8	22.7	22.6	23.3	24.5	275.8	22.9
稼働率	73.9	72.7	76.3	78.1	78.8	78.6	75.3	76	75.8	75.3	77.5	81.6	919.9	76.6

(イ) 要介護度別利用状況 (延利用人員)

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平均
要介護1	137	138	142	139	153	144	134	144	146	146	161	209	1793	149.4
要介護2	141	134	156	167	169	171	171	145	155	123	126	142	1800	150
要介護3	133	138	137	133	140	131	118	97	86	81	76	101	1371	114.2
要介護4	41	48	47	48	47	47	47	67	76	68	72	73	681	56.7
要介護5	1										3	9	13	1
合計	453	458	482	487	509	493	470	453	463	418	438	534	5658	471.5

(ウ) 介護予防対象者利用状況 (延利用人数)

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平均
要支援1	42	41	34	36	43	42	45	50	43	47	47	57	527	43.9
要支援2	37	46	63	65	63	56	50	68	63	57	55	70	693	57.7
合計	79	87	97	101	106	98	95	118	106	104	102	127	1220	101.6

イ 今年度の取組み目標の評価

- ① 「チャレンジ」と題して、昔の趣味活動を再実現すること、また新しい事にチャレンジしアクティブに様々な活動に取り組んでもらうことで、豊かな自己の能力や個性を実現することを旨に目標を設定した。事前に趣味を尋ね、チャレンジ内容を設定した。活動時間に俳句、絵画と時間を設けることで少しずつ意識づけを行い、月刊デイに応募するなど、意欲の向上へ働きかけた。お一人の方が入選となり喜びを皆さんで分かち合うことができた。園芸では、

野菜作りを中心に行い、季節ごとの野菜を収穫した。周りのご利用者の関心も徐々に沸き、協力的な方も出てきた。現在も園芸を楽しみにご利用されている。男性のご利用者の方へは、釣りが趣味だったという声があり、熊本新港へ釣行を試みた。久々の釣りということで、終始笑顔で過ごされ、短い時間だったが満足されていたようで、次回に向け意欲的な発言も多く聞かれた。以前の趣味活動を再実現することで、「昔はああだった、こうだった」と過去を思考しながら現在を楽しむことで、「今度はこうしよう」と未来の思考へと変化が見られた。自己実現・表現することで精神面、身体面へと相互作用し自立支援へと繋がった。準備不足もあり、計画的には思うようにはいかず対象者も限られたが、生き活きとした生活を送ってもらうため今後も継続し、定着した活動にしていく。

- ② 新たなアクティビティ活動を取り入れ、既存のサービスの充実を図ると共に、ご利用者の心身の活性化と満足に繋がった。
 - ・三和苑デイ通信の発行
 - ・レクリエーション活動の充実
 - ・花札、囲碁、将棋、インターネット麻雀等
- ③ 職員は、リスクマネジメントを心がけ、その日のご利用者の心身状態を把握し、状態に合ったケアを行い、事故に繋がらないよう努めた。ヒヤリハット5件、事故（インシデント）は、1件となった。
- ④ 施設の整備と整理整頓を環境化委員が中心となり呼びかけ、各職員が心がけ、必要のない物品は、その都度処分するようにし、すっきりとした空間になるように努めた。
- ⑤ 接遇マナーの向上には、何か不適切な接遇があれば、その日の終礼時、またはデイ会議等で皆に問いかけ、改善点を話し合い、過ちを繰り返さないよう図った。
- ⑥ 職員のストレスマネジメントを定期的に行い、負担となっている業務や人間関係等についてのフォロー体制や、個人面談、会議での話し合いを通し、ストレスを軽減すると共に良好なチームワークに繋がるよう図った。
- ⑦ 地域交流会は、地域貢献とデイサービスを体験していただくことを目的とし、毎月1回実施。ご利用者も定着し、毎回35名程度の利用となる。定期的に三和苑デイサービスセンターと三和荘通所介護事業所と交互に場所を変えて行う。雰囲気も和やかで、活気もあり、地域の皆さん同士も顔なじみとなられ、地域の交流の場として機能している。ご利用される方々からは、「毎回、楽しみ」との声が聞かれ、今後も色々な企画をし、継続していく。

ウ 三和苑デイサービスセンターにおける業務の取組み

①送迎

各ご利用者の心身の状態や、家族の意向を考慮しながら、安全で快適に送迎できるように努め、効率よく配車し時間の調整を図りながら送迎を行った。
(送迎地域・・・城山、中島、池上、高橋、小島、松尾、春日、川尻、宇土の各校区)

②健康チェック

血圧・体温・脈拍を測り、その日の健康状態を把握して日中の様子を観察した。異常がある場合は早期対応を心がけ、ベッドで静養したり、急変時には病院受診する等の処置を行った。

③運動器機能向上訓練・機能訓練

ストレッチ、セラバンド、タオル体操、平行棒、バランスマット、マシン、散歩による上下肢運動等それぞれに応じた訓練を行い、身体の筋力と柔軟性の維持、向上を図った。また、頭の体操や作業療法も取り入れ、心身の活性化につなげた。

④レクリエーション・余暇活動

心身の活性化を図る目的として趣向を凝らした活動を行い、ご利用者が飽きのこない楽しい活動になるよう行った。また活動を通じて交流も図った。

- ・午前の活動は集団活動で主に対戦競技を行い、競技中の意欲や笑いを引きだし、午後の活動は個々の趣向に応じた活動で、カラオケやテレビゲーム、手芸や制作、頭の体操、お話し会等、心身が活性化するように行った。
- ・季節の行事では、その月に応じた活動を行い、花見ドライブも含めて季節感を味わっていただくように実施した。

(・梅、桜、藤の花、紅葉ドライブ・父、母の日・夏祭り・敬老会・もちつき等)

⑤食事

食前の口腔体操を行い、個々の心身状態や嗜好に応じた食形態を提供し、嚥下や食事量にも注意し、誤嚥がないよう見守りに努めた。

⑥入浴

湯あたりや転倒、容態急変等に注意し、安全に快適に個々の心身状態に応じてその人に合った入浴介助を行い、清潔保持に努めた。

⑦養護・物理療法・マッサージ

ベッドや畳の上でゆったり心地良く休めるように環境を整え、マイクロ波やメドマ、マッサージ機等の物理療法を行った。また、専門職員による身体のマッサージを行い、首、肩、腰等、筋肉をほぐし安楽を図った。

⑧相談

個々のご利用者が抱えている悩みについて傾聴し、問題がある場合はご家族、居宅や包括と連携して早期の問題解決に努めた。

⑨事務・書類等の処理

介護保険請求は実績・単位数等をよく確認して行い、他事業所との連携でミスがないよう行った。介護計画書の作成は担当者会議に参加した職員が作成し、ケアプランとして各職員が情報を共有し、現場で反映するように行った。また、他の書類も役割分担をして、各自の責任のもと書類を作成した。

⑩その他

朝夕にミーティングを行い、その日の問題点や改善点などを全員で話し合い、情報を共有してチームワークによるスムーズな業務の遂行と問題解決につなげて、職員一人ひとりの質の向上を図った。

(7) デイサロン快

ア 月別利用状況

(ア) 全対象者合計利用状況

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平均	備考
実運営日数	25	26	26	26	27								130	26	
登録人員	21	20	19	19	23								102	20.4	
月間延利用人数	167	184	184	192	177								904	181	
月間実利用人数	22	21	21	21	20								105	21	
1日平均利用者数	6.68	7.08	7.08	7.38	6.56								34.8	6.95	
月間稼働率(%)	74.2	78.6	78.6	82.1	72.8								386	77.3	

(イ) 要介護度別利用状況 (延人数)

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平均
要介護1	75	92	91	100	97								455	91
要介護2	44	42	43	26	29								184	36.8
要介護3	0	0	0	0	0								0	0
要介護4	8	9	8	9	9								43	8.6
要介護5	0	0	0	13	8								21	4.2
合計	127	143	142	148	143								639	128

(ウ) 介護予防対象者利用状況 (延人数)

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平均
要支援1	0	0	0	0	0								0	0
要支援2	40	41	42	44	34								201	40.2
合計	40	41	42	44	34								201	40.2

イ デイサロン快における業務の取組み

①送迎

送迎車2台を使用し、人数や地域に合わせた送迎を行い、ご利用者の安全、安心を損なわないよう努めた。また、乗り降りの際も安全面への配慮に努めた。(送迎地域…城山 小島 天明 春日 古町 池上の各校区)

②健康チェック

朝から血圧、体温、脈拍を測り、ご本人と一緒に確認を行いご自身の健康状態の把握を促しながら行った。日中も様子観察等を行い、異常があればベッドで休んでいただいたり、急変時には病院受診をするなどの対処を行った。

③日常動作訓練 (レクリエーション)

ご利用者の能力に応じて様々なレクリエーションを取り入れ、「できることへの喜び」や、心身及び脳の活性化を図ることへ特に力を入れてきた。

I 外出活動・・・花を見に行くドライブを中心に、景観などご利用者の希望に合わせた活動を行った。またできる限り外を歩いていただき、同時に歩行訓練も行った。「歩こう快」と名づけ、天候が良い日は城山公園での歩行訓練に取り組んだ。

II 買い物支援・・・ケアプランに基づき、支援が必要な方を近くのスーパー、大型ショッピングモールなど、普段行けないような場所へお連れした。

世間を自分の目で見ることや、フラットではない道を実際に歩いていただくなど、自宅や事業所では体験できないことを行った。また、認知症予防の観点から、ご自分で自由に選んだものを購入していただくことを大切に支援を行い、歩行が不安定な方には車椅子を使用したり、職員がマンツーマンで付き添うなどの配慮も行った。男性利用者にも好評であった。

III ミュージックケア・・・専門の講習を受けた職員による指導・実演のもとに実

施した。身体能力、体調面に充分配慮し、内容もそれらに合わせて変化させて行うようにした。

IV頭の体操・・・ 脳の活性化を目的とした、漢字や言葉の問題を出題し、ご利用者に答えていただいた。ご利用者の趣味や特技を把握し、それに合わせて問題を変え、ご利用者お一人お一人にスポットを当てて実施した。

また、鉛筆を握って頂くことを目的とした、学習療法も取り入れた。最後の時まで自身の名前を書いていただけよう工夫を行った。

④食事

三和荘の厨房から栄養管理のなされた食事を提供し、アレルギーや病気等にも配慮し別メニューでの対応も行った。

⑤入浴

看護職員と協力しながら、体調に合わせて入浴を行った。同性介助を望まれる方にも対応を行った。また浴室内では安全面を考慮し、1人～2人の同時入浴と決め、安心して入浴していただいた。

⑥養護・物理療法・リンパマッサージ

布団やベッドに休んでいただくなど、ご利用者にゆっくりと過ごしていただけるよう環境を整えた。メドマー、マッサージチェア、ホットパックなどの物理療法も提供した。また、リンパケアセラピストの資格を所持している職員によるリンパマッサージを行い、体内の老廃物の流れをよくし、免疫機能、排泄機能の向上を促した。

⑦生活相談

コミュニケーションの中で、個々が持つ悩みや、問題点を収集し、必要な場合は居宅介護事業所や地域包括支援センターと連携し、問題解決に取り組んだ。

⑧介護計画書

お一人お一人に合わせた介護計画書を作成し、ご本人、ご家族の同意を受け、介護サービスを提供した。

イ その他

平成 27 年の介護報酬改定による収入の減少や、震災後の職員の退職に伴う人員不足のため、8 月末をもって事業を休止した。休止に伴うご利用者・登録者への影響が最小限になるように、法人内の他の 2 事業所での受け入れや、それ以外の事業所を希望される方については居宅介護支援事業所との連携を図るなど、最善を尽くした。また、事前に他の事業所を見学する機会を設けたり、ご利用者へ丁寧な説明を行ったため、他の事業所への移行をスムーズに行うことができた。

(8) グループホーム三和の邑

ア 全般

① 安全に努め支援を行っていたにもかかわらず、転倒等の事故が 3 件あった。日常生活の中では、ご利用者の方に日常での役割を持ってもらい、意欲的に生活を送れるよう支援できた。日常の会話の中で思いを引きだし、個別外出に繋げていくことができた。

- ② 4 町内会議に参加するなど、地域の方々と交流を持ち、地域の行事には利用者と参加し、地域の一員として活動ができた。

イ ご利用者の状況

平成 29 年 3 月 31 日現在

性 別	男性 0 名 女性 8 名
平均年齢	84.4 歳（最高年齢 97 歳、最低年齢 67 歳）
認知症の分類	アルツハイマー型認知症……5 名 老人性認知症……………3 名
認知症の程度	II b ……3 名 III a ……3 名 IV ……1 名 M ……1 名
要介護度	要支援 2 ……0 名 要介護 3 ……2 名 要介護 1 ……1 名 要介護 4 ……1 名 要介護 2 ……2 名 要介護 5 ……2 名 (平均要介護度 3.1)

ウ 月別行事実績

月	行 事
4 月	健康診断、花見（護国神社）
5 月	こいのぼり見学（高橋）、父母の会&家族会
6 月	紫陽花ドライブ
7 月	個別外出支援（フードパル、カラオケ）、三和荘夏祭り
8 月	大塘神社夏祭り、個別外出支援（阿蘇ミルク牧場）、花火（三和の邑）、GH 合同夏祭り
9 月	敬老会（カラオケ）
10 月	町内運動会見学（城山小学校）、個別外出支援（和楽）、GH 合同運動会
11 月	個別外出支援（城山フェスタ）、4 町内防災炊き出し体験、みかん山ドライブ（草枕温泉）
12 月	クリスマス会&家族会
1 月	初詣（護国神社）、どんどや、個別外出支援（買い物、植木市）
2 月	節分、梅見ドライブ
3 月	個別外出支援（西区フェスタ）、食事会（すし市場）、花見ドライブ

1 ヶ月 2 回 ……訪問看護（たんぼぼ）訪問

1 ヶ月 1 回 ……介護相談専門員訪問

エ 会議実績

事業所会議 ……毎月 1 回 第 1 水曜日（18:00～19:00）
（内 2 回、3 事業所合同会議 19:00～20:00）

運営推進会議 ……2 か月に 1 回（奇数月）

第4木曜日 (11:00~12:00)
三和校区合同会議・・・年3回 (6月、10月、2月)

(9) グループホーム出水

ア 全般

- ① 毎月グループホーム会議内で、ユマニチュードの勉強会を開催した。勉強会を通して、自らの意識付けや振り返りになり、ケアに反映出来た。
- ② こまめにご家族と連絡を取りながら、ご利用者の情報を共有して重度化しないように早期発見・早期治療につなげた。
- ③ 恒例行事を始め、回覧板から得た地域行事に積極的に参加して、ご利用者が地域の方達と交流することができた。地域サロンには、ご利用者も参加し交流が図れた。
- ④ 毎月の地域サロンや地域からの要望があれば積極的に参加して、高齢者施設としての広報活動が出来た。

イ ご利用者の状況

平成29年3月31日現在

性別	男性0名 女性9名
平均年齢	90.0歳 (最高年齢97歳、最低年齢83歳)
認知症の分類	脳血管性認知症……………0名 アルツハイマー型認知症……8名 レビー小体病……………1名
認知度の程度	Ⅲa…2名 Ⅲb…3名 Ⅳ…4名
要介護度	要支援2…0名 要介護3…5名 要介護1…1名 要介護4…1名 要介護2…0名 要介護5…2名 (平均要介護度3.3)

ウ 月別行事实績

4月	健康診断
5月	初夏ドライブ(高橋こいのぼり見学)、母の日の集い(家族会)、健康診断
6月	一斉清掃、ホーム喫茶
7月	七夕交流会(出水幼稚園)、ソーメン流し、三和荘夏祭
9月	敬老会(家族会)、秋の運動会
10月	白山校区大運動会見学、秋の花見ドライブ(平田ナーセリー)
11月	凧上げ大会、県庁イチョウドライブ
12月	冬のイルミネーション見学(桜十字病院)、クリスマス交流会(出水幼稚園)、クリスマス会、忘年会(家族会)、餅つき大会
1月	初詣(健軍神社)、すし市場昼食

2月	節分行事、バレンタインケーキ作り、梅花見ドライブ(護国神社)
3月	国府公民館創立記念餅つき大会、桜花見ドライブ(国府公園・健軍自衛隊通)

- *1 その他、利用者に合わせた誕生会開催
- *2 毎月1回 介護相談専門員訪問
- *3 毎週月・水・金曜日 訪問マッサージ
- *4 毎週木曜日 訪問歯科治療

エ 会議実績

グループホーム会議（毎月第1木曜日、18：00～19：00）…12回
 グループホーム合同会議（7月・11月・3月、19：00～20：00）…3回
 運営推進会議：偶数月（6月～2月、第3金曜日、10：00～11：00）…5回
 3月（第3金曜日、16:00～17:00）…1回 =計6回

(10) グループホーム三和苑

ア 全般

- ① ご利用者一人ひとりとしっかり向き合い、声に耳を傾け、不安や孤独の軽減に努めてきたが、“帰りたい”という思いが強い方への関わり方においては、その場しのぎになり、根本的な対応策がとれなかった。もっと、家族と連携し、ご利用者主体のケアを実践すべきだったと反省している。
 次年度の課題として、家族が足を運ぶ機会が増やせるような工夫を行っていききたい。
- ② 骨折という大きな事故の他、離設行為もしばしば発生し、安全管理の面で多くの課題が残った。その都度、原因の分析と、再発防止に向けた話し合いを行ったが、離設は繰り返してしまった。
 今後、職員一人ひとりが、自分の役割として自覚し、再発防止に向けた一層の努力をしていく。
- ③ 体調管理は、日頃からかかりつけ医とも連携し、早め早めの対応をとってきた。今年度の退所者は2名で、いずれも体調悪化によるものだったが、初期対応はしっかり出来たと思う。
 しかし、誤嚥性肺炎による入院が生じてしまい、誤嚥のリスクの高さをわかっていただけに、防ぐことが出来なかったことを残念に思う。
 平均利用率も92%と目標を下回ってしまい、次年度に課題が残った。
- ④ 4月の地震発生時には、取り決め通りに職員が集まり、迅速な対応が出来た。また、地震を通しての学びも多く、それを新たなマニュアル作りに活かすことが出来た。
 災害対策の訓練は実施したものの、まだまだ身についていないため、次年度も継続してこの課題に取り組みたい。
- ⑤ 事業所会議において、お互いの気になることや業務の改善点などについて意見を出し合い、一人ひとりがチームの和の大切さを意識しながら業務に臨むようにした。概ね良好な関係を保つことが出来たと思う。

イ ご利用者の状況

平成29年3月31日現在

性別	男性1名 女性 8名
平均年齢	89.1歳（最高年齢96歳、最低年齢79歳）
認知症の分類	前頭側頭型認知症 1名 アルツハイマー型認知症 4名 老人性認知症 4名
認知症の程度	Ⅱb・・・3名 Ⅲ・・・0名 Ⅲa・・・5名 Ⅲb・・・1名 Ⅳ・・・0名
要介護度	要支援2・・・0名 要介護3・・・1名 要介護1・・・3名 要介護4・・・2名 要介護2・・・2名 要介護5・・・1名 (平均要介護度2.5)

ウ 月別行事実績

月	行事	月	行事
4月	花見ドライブ（花岡山） 健康診断	10月	外食（庄屋）、ドライブ（粟嶋神社） GH合同運動会
5月	鯉のぼり見学（高橋）、家族会 個別外出（キャベツ収穫体験）	11月	たこあげ（三和荘） みかん山ドライブ
6月	あじさいドライブ（轟水源）	12月	家族会・クリスマス会
7月	茅の輪くぐり（大塘神社） 外食（庄屋）、ひまわりドライブ	1月	初詣（日吉神社） どんどや
8月	GH合同夏祭り、下代夏祭り 金峰山ドライブ	2月	節分豆まき 梅ドライブ（松尾）
9月	敬老行事（外食、買物）	3月	ひなまつり、花見ドライブ

*週1回訪問看護

*月1回介護相談専門員訪問

エ 会議実績

事業所会議 毎月第3火曜日（10：00～11：00）

3事業所合同会議 2回（7月・2月）

運営推進会議 2ヶ月に1回奇数月第3水曜日（14：00～15：00）

三和校区GH合同会議 4ヶ月に1回（6、10、2月）

(11) 地域包括支援センター

ア 介護予防マネジメント

① 利用者数	要支援1	1474			
	要支援2	1483	合計	2957人	
② 介護予防サービス計画作成の委託状況	地域包括支援センターで作成			2308人	
	居宅介護支援事業所に委託			649人	
③ 介護予防サービス計画の委託先				22事業所	
④ 地域支援事業（介護予防事業）	通所型介護予防	運動	51人	水中	3人
		口腔	16人	栄養	2人
	訪問型介護予防		0人		

イ 総合相談・支援業務の実施状況

① 相談件数（延べ件数）

項目	相談の形態			
	69	17	86	172
1.在宅福祉・生活支援に関すること	69	17	86	172
2.介護保険に関すること	1450	148	1775	3373
3.保健医療に関すること	12	1	7	20
4.認知症に関すること	34	10	9	53
5.権利擁護（虐待）に関すること	20	3	10	25
6.家庭問題に関すること	4	1	3	8
7.経済的な問題に関すること	1	1	2	4
8.居住環境に関すること	37	9	33	79
9.在宅高齢者事業に関すること	5	2	5	12
10.地域支援事業に関すること	16	3	13	32
11.その他	26	12	28	66
合計	1674	207	1971	3852

② 相談者の内訳

区分	延べ件数
本人	2432件
配偶者	283件
子ども	495件
兄弟	46件
親族	126件
地域住民（自治会など）	37件
民生委員	46件
ケアマネージャー	298件
事業者・施設等	763件
その他	320件
合計	4846件

③ 対象者の年齢

区分	実人員			
	男性	女性	不明	合計
59歳以下	6人	2人	0人	8人
60～69歳	35人	80人	0人	115人
70～79歳	139人	392人	0人	531人
80～89歳	234人	859人	0人	1,093人
90歳以上	89人	255人	0人	344人
不明	9人	14人	0人	23人
合計	512人	1602人	0人	2114人

④ 事業別利用件数

項目	相談の形態			
	電話	来荘	訪問	合計
(1) 在宅高齢者福祉事業				
①高齢者及び障害者住宅改造成事業関係	1	0	2	3
②ひとり暮らし高齢者訪問事業	3	0	0	3
③寝具無料乾燥事業	1	2	3	6
④日常生活用具給付事業	0	0	0	0
⑤養護措置業務関係	0	0	0	0
小計 (1) (①～④)	5	2	5	12
(2) 地域支援事業	0	0	0	0
①家族介護者教室	0	0	0	0
②家族介護用品支援事業	3	1	0	4
③生活管理指導短期宿泊事業	0	0	0	0
④家族介護者交流事業	0	0	0	0
⑤高齢者安心支援事業	2	1	1	4
⑥高齢者生活支援事業	0	0	0	0
⑦通所型介護予防事業	11	1	12	24
⑧訪問型介護予防事業	0	0	0	0
小計 (2) (①～⑦)	16	3	13	32
小計 ((1) + (2))	21	5	18	44

ウ 包括的・継続的ケアマネジメント

① ケアマネージャーの後方支援

- * 日常的個別指導・相談を随時受けつけ必要に応じ、同行訪問、巡回訪問、事例検討を行い必要に応じ関係機関と連携を行う。
- * 西5と合同で行う「ケアマネ連絡会」（年1回、地震の影響で1回少なかった）
- * 西1だけで行う「居宅との見守り会議」（年1回、地震の影響で1回少なかった）
- * 居宅と包括の連絡会全体会（年3回）

② 地域との連携体制作り

- * 老人会の例会、サロン、敬老会への参加（81回）
- * はつらっクラブ（10回）
- * こはるカフェ（10回）
- * ささえりあ講演会（認知症講演会）サポーター養成講座と高齢者の安全運転についての教室を開催（82名参加）
- * 高齢者見守りネットワーク会議 高齢者の見守りネットワーク構築を目的に民生委員、自治会長、西区合同で開催 今年度は1回開催 城山校区のみ
- * 3校区町づくり委員会（2ヶ月に1回 高橋校区、城山校区）
- * 校区社協との定例会（偶数月の開催、三和会 年6回）
- * 民生委員の定例会（毎月1回）
- * 校区自治協議会（奇数月の開催で、3校区×6回）
- * 城山の舎1、2・三和の邑・三和苑グループホーム運営推進会議への参加、3グループホーム合同会議参加
- * 琉永館運営推進会議（年2回）
- * 生活リハクラブ運営推進会議（年2回）
- * りんどう小規模デイ運営推進会議（年2回）
- * デイサービス安堵運営推進会議（年2回）
- * 認知症対応型通所介護ゆるり運営推進会議（年2回）
- * 小規模多機能かがやき運営推進会議（年6回）
- * 地域ケア個別会議（17回）

③ その他

広報誌の発行6回

家族介護者教室（介護ミニ講座、介護者の集い、ささえりあ講習会、男性料理教室、元気はつらっ教室）の開催年5回

高齢者見守り事業（3校区、町内毎に見守り会議の開催、把握できていない方への戸別訪問）

エ 地域運営協議会の開催 6月・9月・12月・3月 年4回実施

オ 熊本地震の際の取組み

1回目の地震（14日）の翌日から各担当利用者の安否確認・実態把握を行うとともに、地域の各避難所を巡回し、お困り事や体の不調などがないかの聴き取り・バイタルチェック・エコノミー症候群予防のための体操指導などを行った。また、指定避難所以外の避難所（例えば団地の集会所）も巡回し、支援物資の調達や福祉用具の手配・搬入の調整等を行った。その他、避難所での生活が困難な方の支援、入浴支援の調整なども行い、これらの支援を5月の2週目頃まで行った。

5. 栄養・調理部門

(1) 入所者及びご利用者に対する処遇の充実

ア 嗜好に沿った食事・行事食の実施

- ・ 四季折々の行事に沿った食事作りの実施

《月別行事食実績》

月	日	行事食	献立
5月	5日	端午の節句行事食	・ご飯・ごま天ぷら(ささ身、南瓜)・春キャベツのなめ茸和え・つわの土佐煮・みそ汁(小松菜)
6月	5日	父・母の会行事食	・筍ごはん・鯛の塩焼き・グリーンアスパラガスの白和え・もずく酢・豚汁・フルーツカクテル
7月	7日	七夕行事食	・ミニ散らし寿司・七夕そうめん・豚肉と苦瓜の炒め物(みそ味)・黒ごま豆腐・オレンジ・七夕ゼリー
	30日	土用丑の日	34 うなぎ丼・夏野菜の和え物・切干し大根・清し汁(えのき茸)・宇治金時
	31日	三和荘夏祭り	

12月		餅つき (特養、三和荘デイサービス、三和苑デイサービス、ケアハウス)	
	18日	忘年会・クリスマス会 (特養・ケアハウス)	・黒米ごはん・チキン南蛮・お刺身盛り合わせ・ほうれん草のごま和え・豚汁 ◎飲み物も数種 ※大野商事より“クリスマスケーキ”寄贈
	31日	大晦日	年越しそば
1月	1日	お節料理, お屠蘇	御飯・お煮しめ・紅白なます・ロースハム・鰯の塩焼き・カニ玉グラタン・かまぼこ・数の子・もろみ昆布・伊達巻き・干支羊羹/赤梅甘露煮・黒豆・お雑煮・赤酒
	7日	七草粥	七草粥
	11日	鏡開き	お汁粉
2月	3日	節分	節分たまごボーロ/金時甘納豆
3月	3日	ひな祭り	ひな祭りゼリー/ひなあられ
	21日	春分の日	ぼたもち

- ・残食調査の実施（毎食後）
- ・給食委員会の実施（月1回）
- ・嗜好調査の実施（年1回）
- ・選択食の実施
（特養：誕生日に希望料理を提供/ケアハウス：週1回主食の選択）

イ 入所者の栄養，健康管理及び指導

- ・栄養管理状況報告書の作成（年1回）
- ・糖尿病食づくりの実施（毎食）
- ・栄養ケアマネジメントの実施（対象：特養入所者）
- ・経口維持支援の実施（対象：特養入所者）

ウ 衛生，安全管理の徹底

- ・検便の実施（月1回）
- ・保存食（原材料及び調理済み食品の -20°C 以下2週間、保存）
- ・手指の洗浄，消毒及び食器・調理器具の洗浄，漂白，卵の消毒
- ・汚染・非汚染区域の明確化
- ・食材納入日時，室温の記録
- ・料理の出来上がり時間，中心温度（ 85°C 以上1分間加熱）の測定記録
- ・非常食の管理
- ・ノロウイルス対策（次亜塩素酸ナトリウムによる殺菌消毒）
- ・調理業務中の事故防止対策マニュアルの作成及び実施

エ 適温給食の充実

- ・保温食器，温蔵庫の活用及び配膳直前の盛りつけの徹底

オ 月別食品関係寄贈

月	日	内容・その他(主旨)	数量	寄贈者
4月	18日	水 (災害支援)	500ml×24本 3ケース	城山小学校
9月	8日	握り鮓(出張) (敬老慰問)	182人前 (入所者分:118人前) (職員分:64人前)	岬鮓
12月	13日	クリスマスケーキ (クリスマス)	54個	大野商事 (パチンコ大統領グループ)
2月	3日	のり巻き(節分)	54本 35	海苔で健康推進委員会九州ブロック 株式会社 鶴屋百貨店
	17日	玄米	30kg	善意銀行

6. 防災教育・訓練実施

平成28年度

月	実施内容
4月	●4/1消防用設備等点検（三和苑事業所 法定）
7月	●7/15消防用設備等総合点検（三和荘） ●7/15消防用設備等点検（出水事業所 法定） ●7/28 救急救命法、AED（小島消防署）
10月	●10/25消防点検（三和苑事業所） ●10/27消防訓練（通報・避難誘導 昼間想定）
12月	●12/10消防用設備等点検（出水事業所）
1月	●1/24消防用設備等総合点検（三和荘 法定）
3月	●3/30自主訓練（通報・避難誘導 夜間想定）

7. 職員研修の状況

(1) 法人内研修

平成28年度

実施日	研修内容	参加人数
4月28日	震災の影響により中止	—
5月26日	①「食べる喜びを、あきらめない」、②平成27年度決算報告（出納員）、③「熊本地震」各事業所被害状況報告、④平成28年度各委員会紹介・資格取得者紹介・その他連絡事項	86名
6月23日	①生活衛生出前教室「シャットアウト食中毒」（熊本市健康福祉局保健衛生部食品保健課）②災害時における福祉施設の事業継続（施設長）	83名
7月28日	①救急法・AEDの使い方（小島消防署）、②コーチング（施設長）、③連絡事項	82名
9月22日	①平成28年度各事業所取り組み中間発表、②講評（施設長）	85名
10月27日	①「作業療法について」（三和荘通所 作業療法士）、②「サルコペニアについて」（特養 理学療法士）、③研修報告「多様な住まいの場における看取りケア」（特養 看護職員）、④MCI（軽度認知障害）・認知症予防に関するDVD	73名
11月24日	①『ヨガ療法～自分の健康は、自分で作る～』（講師：天素体流 山本朋慧）、②『Good-bye ストレス』（健康啓発DVD）、③『人生を変える“噛める入れ歯”』（新報道21）	79名
12月22日	①アメリカミシガン州のボランティア（副施設長）、②福祉施設にまつわる裁判例（後藤主幹）、③当面の課題（施設長）、④研究発表「人間らしい生活を取り戻そう」（特養沢田）	75名
2月23日	①各事業所取り組み研究発表（前半の部 パワーポイント使用）②講評（副施設長）	79名
2月24日	②各事業所取り組み研究発表（後半の部 パワーポイント使用）②講評（副施設長）③総評（施設長）	75名
3月23日	①採用者紹介 ②平成29年度運営方針・事業計画・予算 ③「不適切ケアについて～より良いケアのために（虐待・身体拘束の防止、接遇マナー、職員のストレスマネジメント）」（在宅副部長、主任）④表彰（法人内研究発表、広報紙、老協研究大会発表）	81名

【新人職員採用時研修】

年月日	内容
H28.4.1	①社会福祉法人真光会経営理念・実施事業概要 ②事故防止とリスクマネジメント(危険予知訓練含む)
【研修対象者】井上雅敬	

【新人職員研修】

年月日	内容
H28.8.23	①自己紹介、3分スピーチ、②グループワーク(熊本地震について)、講評
【研修対象者】中原紀久子、勝山藍子、高瀬直人、井上雅敬	
年月日	内容
H29.2.21	①スピーチ(今年度の業務を踏まえて、1年後、2年後の目標と展望について)、②グループワーク(デイサービス利用者が楽しめるレクリエーションの考案と実践)、③講評
【研修対象者】中原紀久子、勝山藍子、高瀬直人	

【デイサービスセンター・通所介護事業所交流研修】

年月日	内容
3月～	事業所間の交流研修を行い、事業所及び職員の評価を行うことにより、業務改善・資質向上を図る
【研修対象者】吉村志子、石坂雅也、山口円、井野きくの、中原紀久子、岩田雄基	

(2) 施設外研修

【特別養護老人ホーム】

年月日	研修名	参加者(職種)
H28.5.17	平成28年度福祉職員ビジネスマナー研修会	井上雅敬(介護職員)
H28.6.9	指定施設における不在者投票管理事務研修会	濱本大介(生活相談員)
H28.7.22	第3回日本ケアカレッジオープン講座(アンガーマネジメント)	中屋敷春佳(介護職員)
H28.7.22	第3回日本ケアカレッジオープン講座(アンガーマネジメント)	増永多美(介護職員)
H28.7.22	“動き出しは当事者から”	高瀬直人(機能訓練指導員)
H28.8.21	多様な住まいの場における看取りケア研修会	井手文子(介護支援専門員)
H28.8.21	多様な住まいの場における看取りケア研修会	川辺真由美(看護職員)
H28.9.10	多様な住まいの場における看取りケア研修会	辻構平(介護職員)
H28.9.25	多様な住まいの場における看取りケア研修会	永田健司(介護職員)
H28.10.2	多様な住まいの場における看取りケア研修会	川辺真由美(看護職員)
H28.10.8	平成28年度熊本県介護保険施設連絡協議会研究大会	井手文子(介護支援専門員)
H28.10.17	平成28年度認知症介護基礎研修	志賀留美(介護職員)
H28.10.29 ~30	2016年度社会福祉士実習指導者講習会	濱本大介(生活相談員)
H28.11.30	平成28年度福祉サービス苦情解決研修会	篠原美保(生活相談員)
H28.12.18	「箸の文化」に適応した総義歯セミナー 第2回発表会	脇中実礼(介護職員)
H29.1.14	熊本市の地域リハビリテーション広域支援センター「合同研修会」	高瀬直人(機能訓練指導員)
H29.1.16	施設見学研修会	田中麗子(看護職員)

H29.1.21	平成28年度熊本県老人福祉施設研究大会	井手文子(介護支援専門員)
H29.1.21	平成28年度熊本県老人福祉施設研究大会	濱本大介(生活相談員)
H29.1.21	平成28年度熊本県老人福祉施設研究大会	渡辺千夏(介護職員)
H29.1.21	平成28年度熊本県老人福祉施設研究大会	高瀬直人(機能訓練指導員)
H29.1.21	平成28年度熊本県老人福祉施設研究大会	沢田誠(介護職員)
H29.1.21	平成28年度熊本県老人福祉施設研究大会	和田和美(介護職員)
H29.1.21	平成28年度熊本県老人福祉施設研究大会	山本由美(介護職員)
H29.1.21	医療・介護現場における身体拘束廃止の基礎について	池田弘(介護職員)
H29.1.30	平成28年度自立応援プロジェクト人材育成研修会	高瀬直人(機能訓練指導員)
H29.2.22	平成28年度成年後見制度利用促進研修会	濱本大介(生活相談員)
H29.3.13	熊本市老人福祉施設協議会職員研修会	井手文子(介護支援専門員)

【三和荘通所介護事業所】

年月日	研修名	参加者(職種)
H28.5.23	平成28年度第1回熊本県老人福祉施設協議会総会	藤井美千代(管理者・副施設長)
H28.7.5	平成28年度熊本県老人福祉施設協議会施設長会議	藤井美千代(管理者・副施設長)
H28.7.7	家庭裁判所と補導委託先との連絡協議会	藤井美千代(管理者・副施設長)
H28.8.14	多様な住まいの場における看取りケア研修会	藤井美千代(管理者・副施設長)
H28.8.17	熊本市老人福祉施設協議会職員研修会	藤井美千代(管理者・副施設長)
H28.12.8	平成28年度第2回熊本県老人福祉施設協議会総会	藤井美千代(管理者・副施設長)
H29.1.16	平成28年度社会福祉施設ボランティア活動推進研修会	藤井美千代(管理者・副施設長)
H29.1.21	平成28年度熊本県老人福祉施設研究大会	藤井美千代(管理者・副施設長)
H29.2.21	平成28年度生活困窮者レスキュー事業CSW養成研修会	藤井美千代(管理者・副施設長)
H29.3.2	熊本市老人福祉施設協議会総会	藤井美千代(管理者・副施設長)
H29.3.9	平成28年度第3回熊本県老人福祉施設協議会総会	藤井美千代(管理者・副施設長)
H29.3.13	熊本市老人福祉施設協議会職員研修会	藤井美千代(管理者・副施設長)

【ケアハウス】

年月日	研修名	参加者(職種)
H28.8.25	熊本県軽費・ケアハウス協議会看護・介護職員研修会	米良愛里(生活相談員)
H28.8.25	熊本県軽費・ケアハウス協議会看護・介護職員研修会	東晶子(介護職員)
H28.10.25	平成28年度熊本県軽費・ケアハウス協議会生活相談員研修会	米良愛里(生活相談員)
H28.11.11	平成28年度九社連老人福祉施設協議会 軽費・ケアハウス部会セミナー	米良愛里(生活相談員)
H28.11.30	平成28年度福祉サービス苦情解決研修会	米良愛里(生活相談員)
H29.1.26	カラーコーディネーター研修会	米良愛里(生活相談員)

【居宅介護支援事業所】

年月日	研修名	参加者(職種)
H28.6.10	ケアマネ連絡会	原口洋子(介護支援専門員)
H28.6.10	ケアマネ連絡会	橋本順子(介護支援専門員)
H28.6.19	平成28年度熊本市居宅介護支援事業者協議会総会及び研修会	川上峰子(介護支援専門員)
H28.8.30	第1回見守り会議	川上峰子(介護支援専門員)
H28.8.30	第1回見守り会議	橋本順子(介護支援専門員)
H28.9.30	第6回主治医と介護支援専門員の連携セミナー	川上峰子(介護支援専門員)
H28.9.30	第6回主治医と介護支援専門員の連携セミナー	橋本順子(介護支援専門員)
H28.10.28	平成28年度第1回西区役所管内「包括と居宅の全体会」vol.1	川上峰子(介護支援専門員)
H28.10.28	平成28年度第1回西区役所管内「包括と居宅の全体会」vol.1	橋本順子(介護支援専門員)
H28.11.15	平成28年度第1回西区役所管内「包括と居宅の全体会」vol.2	川上峰子(介護支援専門員)
H28.11.15	平成28年度第1回西区役所管内「包括と居宅の全体会」vol.2	橋本順子(介護支援専門員)
H28.12.4	復興支援記念講演会	川上峰子(介護支援専門員)
H28.12.4	復興支援記念講演会	橋本順子(介護支援専門員)
H28.12.12	平成28年度介護支援専門員実務研修に係る実習受入の説明会	川上峰子(介護支援専門員)

【包括支援センター】

年月日	研修名	参加者(職種)
H28.11.3	熊本地震後の被災者と高齢者のケアといきがいのまちづくり「くまもと未来会議」	村上恵子(社会福祉士)
H28.11.3	平成28年度熊本県主任介護支援専門員研修	平田万亀子(社会福祉士)
H28.11.4	これからの地域コミュニティづくりを東日本大震災の経験に学ぶ	平田万亀子(社会福祉士)
H28.11.6	平成28年度熊本県主任介護支援専門員研修	平田万亀子(社会福祉士)
H28.11.9	平成28年度生活支援コーディネーター養成研修	本田久美(相談員)
H28.11.10	平成28年度生活支援コーディネーター養成研修	本田久美(相談員)
H28.11.23	平成28年度熊本県主任介護支援専門員研修	平田万亀子(社会福祉士)

H28.12.18	平成28年度熊本県主任介護支援専門員研修	平田万亀子(社会福祉士)
H29.1.7	平成28年度熊本県主任介護支援専門員研修	平田万亀子(社会福祉士)
H29.1.14	熊本市の地域リハビリテーション広域支援センター「合同研修会」	本田久美(相談員)
H29.1.15	平成28年度熊本県主任介護支援専門員研修	平田万亀子(社会福祉士)
H28.1.26	平成28年度成年後見制度利用促進研修会	村上恵子(社会福祉士)
H29.1.28	平成28年度熊本県主任介護支援専門員研修	平田万亀子(社会福祉士)
H29.2.4	平成28年度熊本県主任介護支援専門員研修	平田万亀子(社会福祉士)
H29.2.7	平成28年度熊本市介護予防サポーターフォローアップ講座	本田久美(相談員)
H29.2.18	平成28年度熊本県主任介護支援専門員研修	平田万亀子(社会福祉士)
H29.2.18	平成28年度熊本県認知症コールセンター第4回事例検討会	石田麻美子(相談員)
H28.2.24	平成28年度熊本県高齢者権利擁護事例研修	村上恵子(社会福祉士)
H29.2.27	平成28年度地域包括支援センター職員等研修会(管理者・現任者向け)	平田万亀子(社会福祉士)
H29.2.27	平成28年度地域包括支援センター職員等研修会(管理者・現任者向け)	山形孝子(主任介護支援専門員)
H29.2.28	平成28年度生活支援コーディネーター連絡会議	本田久美
H29.3.4	平成28年度熊本県主任介護支援専門員研修	平田万亀子(社会福祉士)
H29.3.4	平成28年度熊本県若年性認知症受入れ促進研修	村上恵子(社会福祉士)
H29.3.9	平成28年度熊本県主任介護支援専門員研修	平田万亀子(社会福祉士)
H29.3.19	平成28年度熊本県主任介護支援専門員研修	平田万亀子(社会福祉士)

【グループホーム三和の邑】

年月日	研修名	参加者(職種)
H28.6.15	熊本市ブロック会研修会	陣内祥子(管理者)
H28.11.10	熊本市介護相談専門員(支援員)受入施設等意見交換会	串山靖明(介護職員)
H28.3.1	認知症対応型サービス事業管理者研修	串山靖明(介護職員)
H29.3.2	認知症対応型サービス事業管理者研修	串山靖明(介護職員)

【グループホーム出水】

年月日	研修名	参加者(職種)
H28.6.15	熊本市ブロック会研修会	笠原直子(管理者)
H28.7.22	“動き出しは当事者から”	緒方美智子(介護職員)
H28.10.17	平成28年度認知症介護基礎研修	飯田貴暁(介護職員)
H29.1.21	平成28年度熊本県老人福祉施設研究大会	飯田貴暁(介護職員)

【グループホーム三和苑】

年月日	研修名	参加者(職種)
H29.1.21	平成28年度熊本県老人福祉施設研究大会	林田和花(介護職員)
H28.8.17	熊本市老人福祉施設協議会職員研修会	松本亜紀(管理者)

【事務】

年月日	研修名	参加者(職種)
H28.6.9	平成29年3月新規学校卒業者を対象とする求人説明会	後藤卓爾(事務)
H28.7.12	高等学校と企業との意見交換会	黒田修代(事務)
H28.7.12	高等学校と企業との意見交換会	白石幸大(出納員)
H28.7.12	平成28年度社会福祉法人制度改革対応セミナー(前期)	後藤卓爾(事務)
H28.7.25	平成28年度福祉事業所セミナー	黒田修代(事務)
H28.8.17	熊本市老人福祉施設協議会職員研修会	黒田修代(事務)
H28.8.17	熊本市老人福祉施設協議会職員研修会	後藤卓爾(事務)
H28.8.30	平成28年度第1回介護就職面接会	黒田修代(事務)
H28.8.30	平成28年度第1回介護就職面接会	後藤卓爾(事務)
H28.8.31	公正採用選考人権・同和問題啓発推進員研修会	黒田修代(事務)
H28.9.27	平成28年度熊本県軽費・ケアハウス協議会施設長研修会	後藤卓爾(事務)
H28.10.8	平成28年度熊本県介護保険施設連絡協議会研究大会	黒田修代(事務)
H28.10.19	平成28年度社会福祉法人労務研修会	後藤卓爾(事務)
H28.10.27	改正育児・介護休業法等説明会	黒田修代(事務)
H28.10.27	改正育児・介護休業法等説明会	後藤卓爾(事務)
H28.11.16	第10回福祉施設のためのリスクマネジメント研修会	後藤卓爾(事務)
H28.11.28	社会福祉法人の制度改革に伴う説明会	後藤卓爾(事務)
H28.12.6	平成28年度社会福祉法人制度改革対応セミナー(後期)	後藤卓爾(事務)
H28.12.20	平成28年度社会福祉法人改革対応セミナー	黒田修代(事務)
H28.12.20	平成28年度社会福祉法人改革対応セミナー	白石幸大(出納員)

H29.1.21	平成28年度熊本県老人福祉施設研究大会	黒田修代(事務)
H29.1.21	平成28年度熊本県老人福祉施設研究大会	後藤卓爾(事務)
H29.1.25	介護・看護の仕事 就職相談会	黒田修代(事務)
H29.1.25	介護・看護の仕事 就職相談会	後藤卓爾(事務)
H29.1.26	カラーコーディネート研修会	萱野瞳(事務)
H29.2.20	平成28年度第2回年金委員実務研修会	黒田修代(事務)
H29.3.10	平成28年度熊本県社会福祉法人経営者セミナー	後藤卓爾(事務)
H29.3.10	平成28年度熊本県社会福祉法人経営者セミナー	白石幸大(出納員)

【栄養・調理】

年月日	研修名	参加者(職種)
H28.6.29	平成28年度熊本県軽費・ケアハウス栄養士・調理師研修会	裕川愛(調理員)
H28.7.14	熊本県栄養士会福祉事業部平成28年度第1回研修会	安富貴子(管理栄養士)
H28.9.24	熊本県栄養士会福祉事業部平成28年度第2回研修会	安富貴子(管理栄養士)
H28.11.16	平成28年度 第1回栄養管理・調理師合同研修会	吉海沙耶(栄養士)
H29.1.24	熊本県栄養士会福祉事業部平成28年度第3回研修会	安富貴子(管理栄養士)

【施設長】

年月日	研修名	
H28.7.7	熊本市老人福祉施設協議会総会	後藤道彌
H28.8.25	熊本県軽費・ケアハウス協議会看護・介護職員研修会	後藤道彌
H28.10.28	平成28年度熊本県軽費・ケアハウス協議会役員会	後藤道彌
H28.12.13	平成28年度熊本県軽費・ケアハウス協議会役員会	後藤道彌
H29.1.21	平成28年度熊本県老人福祉施設研究大会	後藤道彌

【理事長】

年月日	研修名	
H29.2.28	認知症対応型サービス事業開設者研修(講義)	吉田精華
H29.3.7	認知症対応型サービス事業開設者研修(実習)	吉田精華

【第三者委員】

年月日	研修名	
H28.11.30	平成28年度福祉サービス苦情解決研修会	由川一夫
H28.11.30	平成28年度福祉サービス苦情解決研修会	松田明彦
H29.2.28	平成28年度福祉サービス苦情解決事業「第三者委員」研修会	由川一夫
H29.2.28	平成28年度福祉サービス苦情解決事業「第三者委員」研修会	松田明彦

8. 震災支援物資提供者一覧

logic architecture(ロジックアーキテクチャ)様、ナリコマエンタープライズ様、サニク
 リーン九州様、リコージャパン様、全国小規模多機能連絡協議会様、ちぐさ幼稚園(糸島
 しましまプロジェクト福岡県)様、慶歯科医院様、ND ソフトウェア株式会社様、城山小学
 校様、三菱重工様、(株)日本シルバーサポート様、熊本県老人福祉施設協議会様、特定非営
 利活動法人小さな一歩様、(株)販売促進研究所様、九州メディカル様、橋口様、出口美
 恵様、松本律子様、島村智之様、城洋子様ご家族様、松永和枝様ご家族様、段浦様、谷口
 様、養田様、石原様(順不同)